

本内容は、下記米国富士フィルムの Web ページ内容を和訳したものです。

[https://www.fujifilmusa.com/products/film\\_photography/pdf/Traveling\\_film.pdf](https://www.fujifilmusa.com/products/film_photography/pdf/Traveling_film.pdf)

## 空港手荷物検査における X 線/CT スキャンからの フィルムの保護について

(2020 年 2 月 10 日)

米国国内の空港で新たに導入されている性能が強化されたスキャナー(X線検査装置)は、これまでの機種と比較してフィルムに対して悪影響を与えることがわかっています。

写真家および国際映像産業協会 (I3A) から、空港に設置されている新型スキャナーの検査により、カラー・黒白フィルムの両方に、画像への「かぶり」などによる悪影響の報告が増加しています。これらは新型のスキャナーに 1 回通すだけでも発生する可能性があります。

お客様の貴重なフィルムならびに写真を保護するため、弊社では下記の対策を行っていただくことをお奨めいたします。

- ・未現像のフィルムは機内持ち込み手荷物に入れ、毎回係員による X 線を当てない目視(手)検査を依頼してください。フィルム全てを透明のビニール袋に入れて係員に依頼することをお奨めします。未現像のフィルムには、撮影済フィルムと撮影前フィルムの両方および、映画フィルム、instax フィルム、写ルンですを含みます。米国運輸保安庁(TSA)の測定者はあらゆるタイプのフィルムをチェックするトレーニングを受けています。
- ・フィルムを大量に持ち運ぶ場合は、搭乗前に航空会社に連絡し、特別な手荷物検査をご依頼ください。
- ・X 線検査を受けないことを保証する小荷物業者または貨物運送業者を使用して、搭乗前に目的地にフィルムを送ることをご検討ください。

現像済のフィルムならびに写真画像は、通常は X 線/ CT スキャナーによる影響はありません。

空港でのスクリーニングポリシー、手順、その他セキュリティチェックポイントでのよくある質問については、[米国運輸保安庁\(TSA\)カスタマーサービスの Web サイト\(英文\)](#)をご覧ください。

以上